

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

**\*昭和6年頃の東京天文台絵葉書(第3集～第5集)について**

天文学関係の古い資料の蒐集家である小川誠治氏から古い東京天文台の絵葉書について調査していると、その報告を戴いた。天文月報昭和6年11月号に写真1のような東京天文台絵葉書の広告が出ていて、その当時第1集～第5集までが発行され販売されていたことが分かる。小川氏は、これ等の大部分を収集されているようでそれらを送っていただきあり、筆者が国立天文台で収蔵したものもあるので、この時点で整理をしておきたい。広告を整理すると東京天文台絵葉書は下記の5集が発行されている。4枚1組で8銭とある。また別に東京天文台前掲の航空写真も売られていて1枚2銭とあり、これも興味深い。

第1集：子午儀、時計室、子午環室

第2集：天頂儀、聯合子午儀室、八吋赤道儀、八吋赤道儀室

第3集：六十五糎赤道儀室、六十五糎赤道儀、六十五糎赤道儀の一部(その一、その二)

第4集：塔望遠鏡(アインシュタイン塔)、塔望遠鏡シーロスタット、二十糎天体写真儀及び十三糎太陽写真儀、二十糎彗星搜索鏡

第5集：三鷹国際報時所全景、国際報時所短波受信機、同所無線報時受信自記装置、測地学委員会基線尺比較室

**東京天文臺繪葉書**

(コロタイプ版)

(値下げ)四枚一組八銭送料四組迄二銭

**新刊發賣**

第三集 六十五糎赤道儀室、六十五糎赤道儀、六十五糎赤道儀の

一部(其一及其二)

第四集 塔望遠鏡(アインシュタイン塔)、塔望遠鏡シーロスタット、

二十糎天體寫真儀及十三糎太陽寫真儀、二十糎彗星搜索鏡

第五集 三鷹國際報時所全景、國際報時所短波受信機、同所無線

報時受信自記裝置、測地學委會基線尺比較室

從來のもの

第一集 子午儀、時計室、子午環、子午環室

第二集 天頂儀、聯合子午儀室、八吋赤道儀、八吋赤道儀室

右の他新刊(一枚金二銭)

東京天文臺全景(空中寫真)

**プロマイド天體寫真(繪葉書型)**

定價一枚金拾錢 送料二十五枚まで金二銭

(三十四種既製)

發賣所

東京府下三鷹村東京天文臺構内  
電話東京一三五九五番

日本天文學會

写真1 天文月報昭和6年11月号の広告

これ等の東京天文台の絵葉書のうち、現在入手できたのは第3集～第5集で、第1集、第2集はまだ目にしたことがないが、筆者は国立天文台の前身である東京天文台からの職員であるから、何が絵葉書の題材であったかが分かれば画像は入手できる。天文月報の広告によってこれ等の絵葉書集に載せられたものの写真は独自に入手が可能だが、今回は日本天文学会が頒布したものの紹介が目的だから第3集～第5集に限る。この中にも小川氏から提供されたもの、独自に入手できたもの以外は、東北大学附属図書館の狩野文庫データベースから入手したものもある。

まず第3集は65cm赤道儀望遠鏡関係の4枚である。写真2がカバー、写真3が65cm赤道儀室、写真4が65cm赤道儀、写真5が65cm赤道儀の一部（その1）、写真6が65cm赤道儀の一部（その2）である。

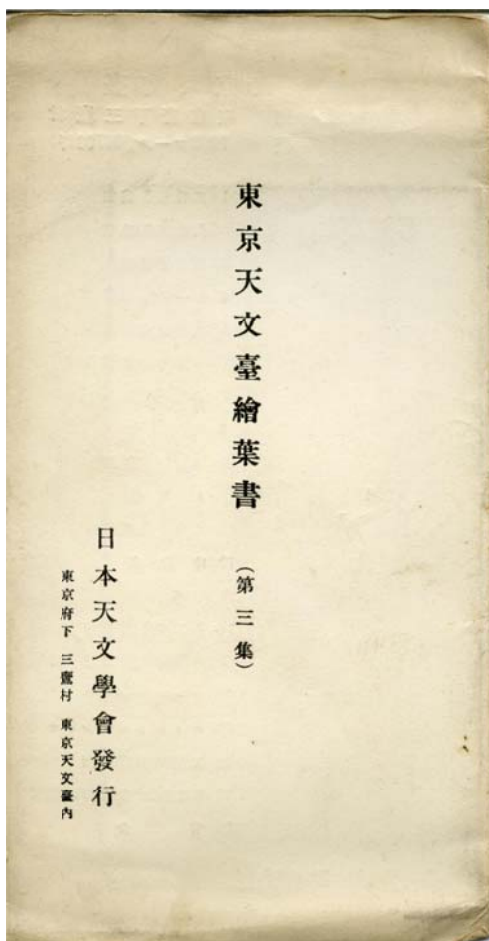
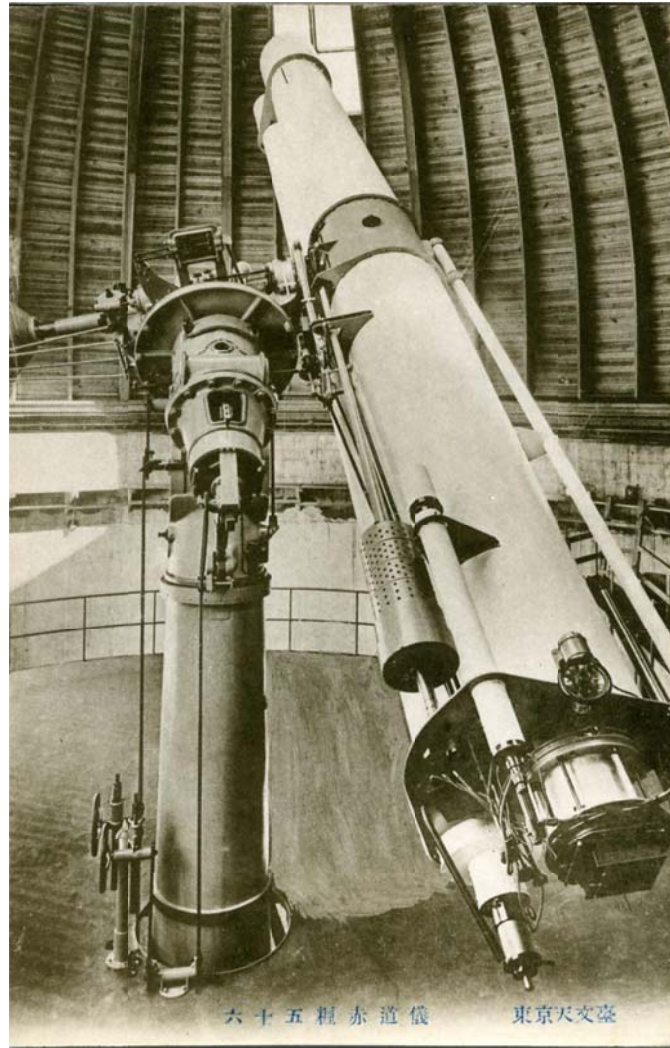


写真2 絵葉書カバー



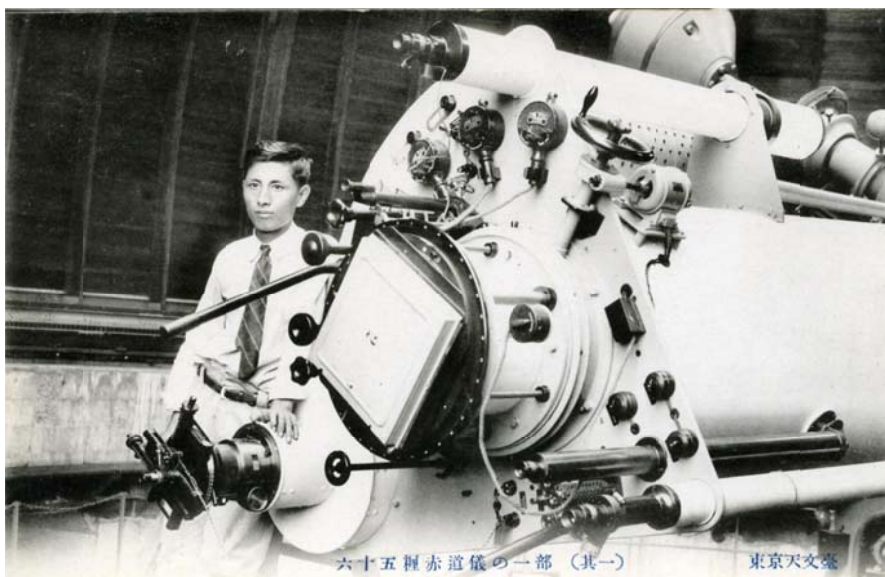
写真3 65cm赤道儀室

この65cm赤道儀室の写真を見ると、現在とは全く様相を異にしており、ドームの周辺の木々は小さく平原にドームが立っている様子がよくわかる。写真3の写真ではドームに窓があることが判別できないが、写真4のドーム内で65cm赤道儀望遠鏡を写した写真では、そのドームに四角な窓があったことが分かる。この65cm赤道儀ドームに窓があったことを国立科学博物館に出入りしている野地氏に指摘されるまで知らなかった。



六十五口径赤道儀 東京天文臺

写真4 65cm 赤道儀（東北大学附属図書館より引用）



六十五口径赤道儀の一部（其一） 東京天文臺

写真5 65cm 赤道儀の一部（その1）

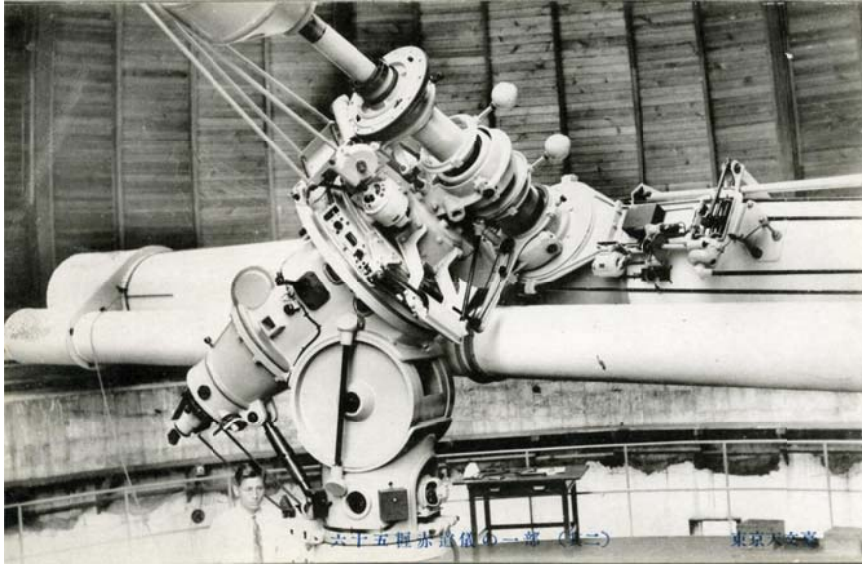


写真6 65cm赤道儀の一部(その2)

第4集は、写真7が絵葉書カバー、写真8が塔望遠鏡(アインシュタイン塔)、写真9が塔望遠鏡シーロスタット、写真10が二十種天体写真儀及び十三種太陽写真儀、写真11が二十種彗星搜索鏡である。

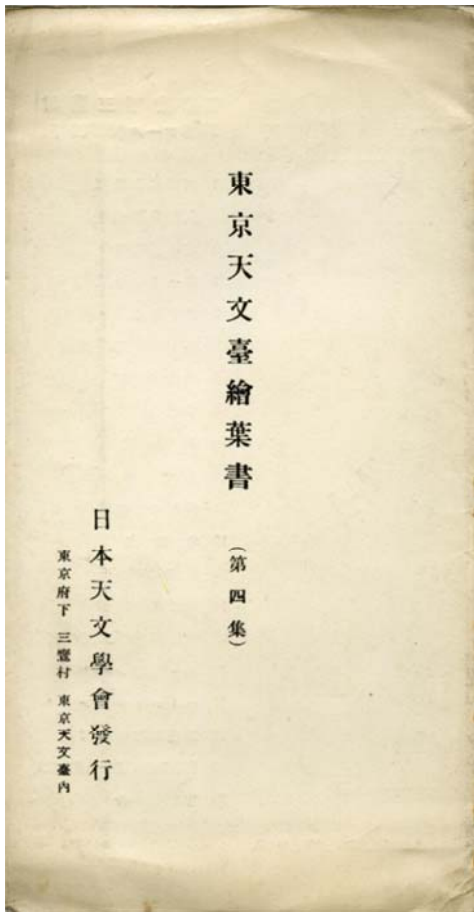
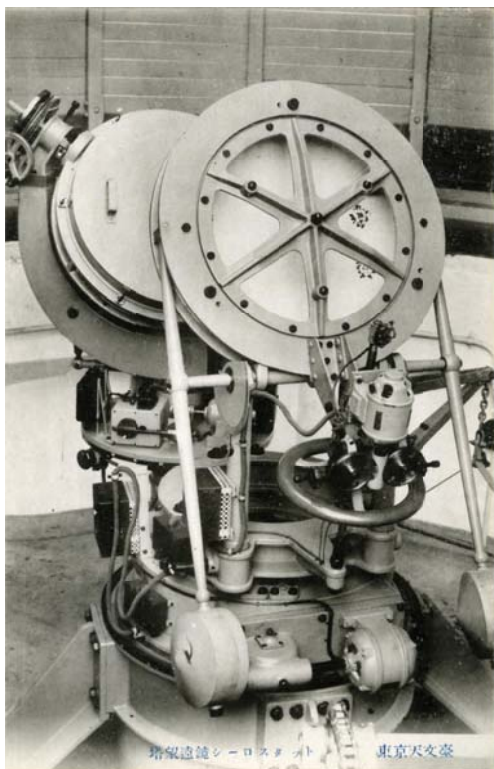


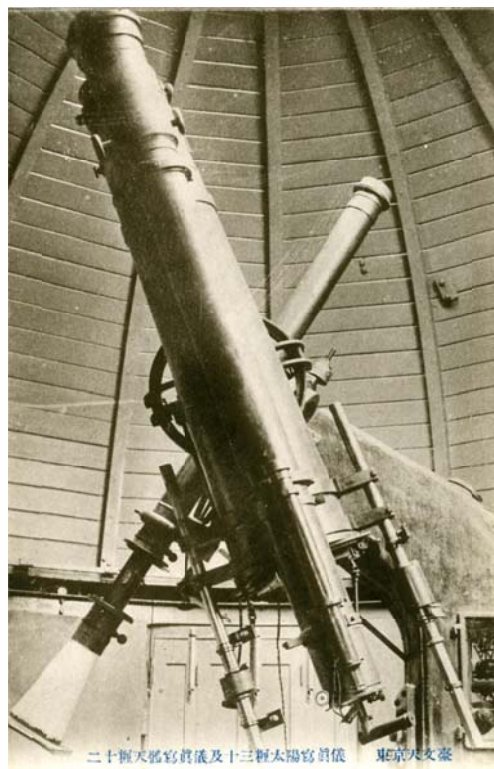
写真7 第4集絵葉書カバー



写真8 塔望遠鏡(アインシュタイン塔)

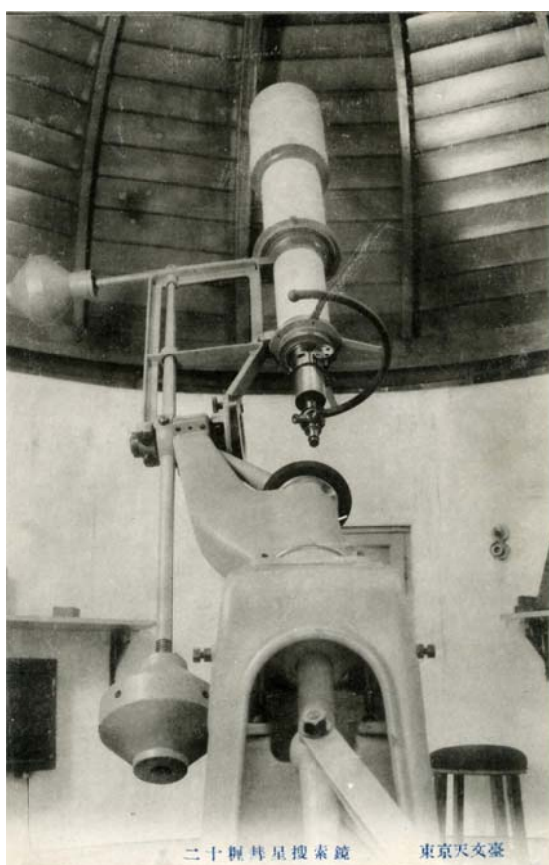


塔望遠鏡シーロスタット 東京天文臺



二十糎天体写真儀及十三糎太陽写真儀 東京天文臺

写真9 塔望遠鏡シーロスタット 写真10 二十糎天体写真儀及び十三糎太陽写真儀



二十糎彗星搜索鏡 東京天文臺

写真11 二十糎彗星搜索鏡（東北大学附属図書館より引用）

第5集は、三鷹国際報時所関係の4枚であり、写真12が絵葉書カバー、写真13が三鷹国際報時所全景、写真14が国際報時所短波受信機、写真15が同所無線報時受信自記装置、写真16が測地学委員会基線尺比較室である。

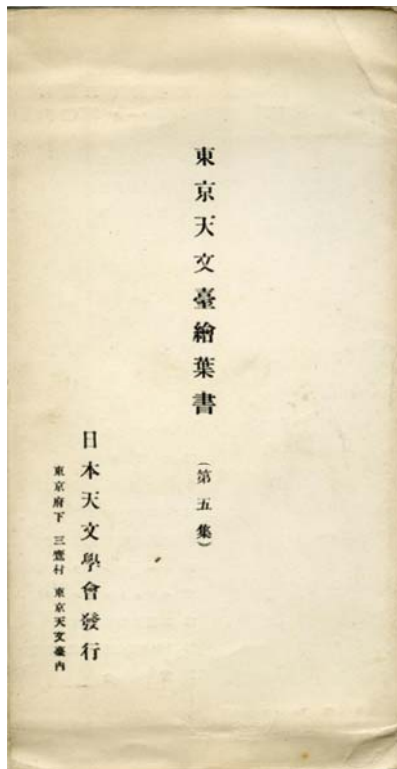


写真12 絵葉書カバー

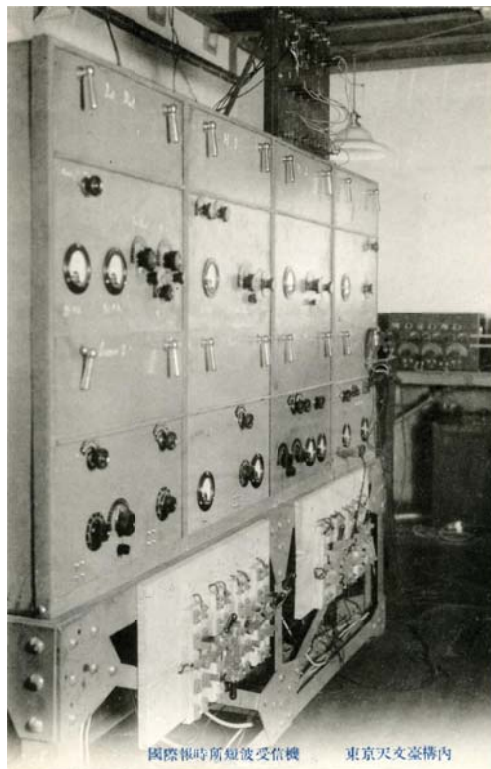


写真14が国際報時所短波受信機



写真13が三鷹国際報時所全景



国際報時所無線報時受信自記装置

東京天文臺構内

写真 15 国際報時所無線報時受信自記装置



測地学委員会基線尺比較室

東京天文臺構内

写真 16 測地学委員会基線尺比較室

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)